

### 松本秀峰中等教育学校

「国際的に通用し、かつ地域貢献ができる人材を」。そう語るのは、松本秀峰中等教育学校の菱田智晴教頭だ。

同校は2010年開校の新設校。本年度、高校3年生にあたる初の卒業生を送り出すという注目が集まる。力を入れているのが英語教育だ。毎日、英語の授業をおこない、英語指導助手(ELT)による指導も授業内外

問わず充実。イギリスへの海外研修も設けられている。さらに自発的発言力

## 常に新しく広い視野求める

「教師と生徒がともに成長できることが理想」とも菱田教頭は話す。「校内における教育者が県内出身者ばかりだと視野が狭まってしまいます。県外出身2時間に限られる。そのなかで、松本秀峰の生徒たちは勉学のみならず生徒会活動や部活動にもいそしむ。部活動は、月、水、金曜日のそれぞれ生かしていくのだから

と論理的思考力を養うため、学年ごとに課題図書を読ませ、毎朝10分の読書をおこない、その内容を議題としてディスカッションするという。

の教師から他県の様子を聞くことで刺激を得ることもできます。実際、同校の教師陣は3分の2が県外出身者であり、常に新しく広い視野で教育がおこ

の2時間のなかでどれだけ効果的に活動できるかが求められる。それは卒業でも同様だ。こつとした同校の教育体制に魅力を感じ、県外からも生徒が入学する。

「中等教育学校としては確固たる地位を築くには10年かかる」と菱田教頭が語ったように、これからの同校に、これからの同校に期待が募る。(後藤明)



4学年時の海外研修の際、ケンブリッジ大学でスピーチをする松本秀峰の生徒